

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鮫川村地域農業再生協議会			整理番号	1（継続）H28～	
使途名	大豆振興助成					
対象作物	大豆（基幹作物）					
単 価	19,000円/10a（上限単価：40,000円/10a）					
課 題	これまで、産地交付金を活用し大豆の振興を図ってきたが、近年の天候不順や鳥獣被害による収量の減少、実需者の在庫不足は深刻である。本村では村産大豆加工品のブランド化を推進しており、年間20tを必要としているため、この危機的状況を脱却することが重要な課題である。 令和4年度においては、地域協議会として例年栽培している農業者への作付けの継続・拡大の推進を図ってきたことで、昨年度を上回る9.0ha（昨年比+0.6ha）の作付けとなった。単収については令和3年度に比べて下回り、87.8kg/10a（直近5カ年平均（84.7kg）比+3.1kg）となった。主要農家への聞き込みでは、例年に比べて生育速度が早かったが、目立った症状等は見られなかった。獣害が見られたものの、電気柵の設置等の対策により被害が少なかったものとみられる。 このことから、令和5年度においても地域協議会として引き続き、大豆は本村では主食用米を含めた他の作物に比べてメリットが大きいことを数値化し、村広報やチラシ、直接的な声掛けをし周知を徹底することで推進を図る。 なお、今までにない肥料費・燃料費の高騰の影響により、農業者の減少や休耕地の増加が見受けられることから、要件については変更しないものとする。 令和4年度は目標に対して面積が上回り、単収が下回ったが、令和5年度は目標に向けて取り組みを推進していく。 なお、令和4年度の取組で定着度が高くなったことから、具体的要件の2 取組要件④～⑥を必須要件に加え、定着度の低い取り組みとする。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積(ha) 単収(kg/10a)	目標	- ha 130kg	- ha 70kg	-ha 115kg	9ha 120kg
		実績	- ha 68.6kg	-ha 108.8kg	7ha 87.8kg	-
内 容	大豆の収量向上の取組にかかる経費の一部を負担することで、栽培農家数を堅持・増加し、平均収量の向上を推進する。なお、県枠設定の「麦・大豆生産拡大助成」に上乗せにより支援を行う。					
具体的要件	1 助成対象者 手まめ館に出荷・販売することを目的に大豆を生産・販売する農業者又は集落営農組織とする。 2 取組要件 （1）対象作物の生産を行い、出荷・販売を行うこと。 （2）明渠の施工・土づくり（堆肥散布・穀すき込み等）を行うと共に、大豆の収量向上に係る取組として下記のうち2つ以上行うこと。 ①越冬性の地力向上作物（エン麦）を大豆収穫後に栽培し、翌春に鋤き込んで地力を向上させる取組 ②徹底した水湿害対策のため下記のうち1つ以上の排水技術により明渠との複合排水対策を行う取組 ・排水対策としての畝立て ・暗渠 ※その他、農家独自の排水対策がある場合は協議会と協議すること。 ③鳥獣による食害の軽減と収量を向上させるため、育苗後の移植栽培を行う取組 ④地力向上のため、耕転の前にプラウ深耕による天地換えを行う取組 ⑤効率的かつ効果的な病害虫防除 ⑥イノシシ等の獣害対策として栽培期間中の電気柵等の設置					
取組の 確認方法	1 助成対象者 営農計画書又は交付申請書、は種前契約書、販売伝票 2 取組要件 （1）営農計画書や作業日誌、販売伝票 （2）取組内容が分かる書類及び現地確認					
成果等の 確認方法	令和6年1月末までに以下の方法で確認する。 （1）作付面積については、交付対象面積を集計 （2）収量については、直近5カ年のうち最高値と最小値の年を除いた3カ年の平均と当年産を比較					
備考	大豆の作付面積増加による地域ブランド力維持は本村の重要かつ長期的な課題であるため、令和5年度の検証を行い、効果が確認できれば次年度以降も継続していく。 令和5年度において定着度が高くなった場合は、令和6年度の要件を変更する。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鮫川村地域農業再生協議会				整理番号	2（継続）H28～
使途名	WCS用稲低コスト等栽培助成					
対象作物	WCS用稲（基幹作物）					
単 価	3,000円/10a（上限単価：12,000円/10a）					
課 題	需要に応じた米生産を推進するため、また村の主要産業である畜産農家の需給安定のため、これまでも主食用米からWCS用稲への転換を推進してきた。 令和4年度においては、地域協議会として農業者への事業の説明と継続・拡大の推進を図ったが、現地確認等により取組面積の修正を行ったことから、取組面積は56.2ha、昨年比で-0.7haとなった。生産コストについては、肥料費・燃料費の高騰等の要因により65,000円/10aの結果となった。 令和5年度においても、地域協議会として引き続き農業者へWCS用稲の取組の要請に努める。 なお、令和4年度の取組で定着度が高くなったことから、取組要件の生産コスト低減から「収穫後の秋季耕耘等による土づくり」と「作業効率及びコスト削減のため一発肥料の利用」を新たに追加し、定着度の低い取組要件とする。 目標設定について、生産費については肥料費・燃料費の価格高騰により例年に比べて上回ったことから、目標設定を変更せずに推進する。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積(ha) 生産費(円/10a)	目標	- ha 60,000円/10a	- ha 62,000円/10a	- ha 61,000円/10a	58ha 60,000円/10a
		実績	- ha 63,000円/10a	- ha 62,000円/10a	44.8ha 65,000円/10a	-
内 容	WCS用稲を低コスト化の取組を行って作付した場合、作付面積に応じて助成する。					
具体的要件	1 助成対象者 実需者に出荷・販売又は自家利用することを目的に、対象作物の生産に取組む農業者又は集落営農組織とする。 2 取組要件 (1) 新規需要米取組計画の認定を受けること。 (2) 生産コスト低減を達成するため、効率的かつ効果的な病虫害防除と適期中干しを実施すると共に、次のいずれか3つ以上の取組を行うこと。 ①直播栽培の施行（福島県稲作畑作技術指針に基づく栽培を行うこと） ②温湯種子消毒 ③有機質肥料の施用や収穫後の秋季耕耘等による土づくり（持続可能な農業生産を行うため） ④除草に係る農薬の低減（栽培期間中、除草剤1回以内の使用（一発剤等の使用）を行うこと） ⑤収穫作業を自前で行う ⑥イノシシやカラス等の鳥獣被害防止のため電気柵や防鳥ネットなどの設置 ⑦作業効率及びコスト削減のため一発肥料の利用					
取組の 確認方法	1 助成対象者 営農計画書又は交付申請書 2 取組要件 (1) 新規需要米認定結果通知書 (2) 現地及び作業日誌の確認、必要に応じて栽培履歴等の確認、肥料の購入伝票の確認					
成果等の 確認方法	令和5年12月末までに以下の方法で確認する。 ・作付面積については、交付対象面積を集計。 ・生産コスト削減状況については取組農家への聞き取りにより把握する。					
備考	令和5年度の取組の検証を行い、効果が確認できれば次年度以降も継続する。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鮫川村地域農業再生協議会				整理番号	3（継続）H30～	
使途名	飼料用米多収栽培技術導入助成						
対象作物	飼料用米（多収品種）（基幹作物）						
単 価	2,300円/10a（上限単価：10,000円/10a）						
課 題	令和4年度においては、令和3年度に取組面積を大幅に増加したことから、取組面積は昨年比+0.5haの12.7haとなった。また、単収についてはイノシシ等による獣害が複数見受けられたものの、目立った災害もなかったことから、昨年比+6kgの421kg/10aとなった。生産費については、多肥栽培により経費が増加したことから、117,000円/10aとなった。 このことから、令和5年度においても地域協議会として取組面積の目標を達成するため、農家へのチラシの配布や声掛けなどを行い取組面積の拡大を目指す。 目標設定について、取組面積については見込みのとおり緩やかな増加傾向にあることから、令和5年度の目標に向けて推進していく。						
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	取組面積(ha) 単収(kg/10a) 生産費(円/10a)	目標	16.0ha 490kg/10a 107,800円/10a	9.5ha 415kg/10a 114,900円/10a	13.0ha 420kg/10a 112,600円/10a	14.0ha 430kg/10a 110,200円/10a	
		実績	9.3ha 404kg/10a 116,040円/10a	12.2ha 418kg/10a 114,900円/10a	12.7ha 421kg/10a 117,000円/10a	-	
内 容	対象者が収量向上のために一定の取組をした場合、作付面積に応じて助成する。なお、飼料用米（多収品種）については、今後さらに作付の推進及び単収の向上を図る必要があることから、県による飼料用米への支援に上乗せによる支援を行う。						
具体的要件	1 助成対象者 実需者に出荷・販売を目的に、飼料用米の多収品種の生産に取り組む農業者又は集落営農組織。 2 取組要件 ①多収品種の作付を行うこと （多収品種とは、需要に応じた米生産・販売の推進に関する要領別紙1の第4の3に定める品種） ②多肥栽培（一般品種と比較し、窒素成分の施肥量が+3kg以上となる栽培方法）を行うこと ③コスト削減のため、以下の取組のいずれかを実施すること ・初期、中期計2回の除草作業（除草剤の散布、難防除雑草については手取り除草） ・温湯種子消毒 ・立毛乾燥 ・有機質肥料の施肥 ・側条施肥 ・適期刈取り ・適期病害虫の防除 ④実需者と出荷・販売契約を締結すること ⑤新規需要米取組計画の認定を受けること						
取組の 確認方法	1 助成対象者 交付申請書又は営農計画書。 2 取組要件 ①多収品種種子購入伝票（自家採種の場合は、自家採種の取組申請書及び導入当初の種子購入伝票）、営農計画書、現地確認 ②作業日誌、現地確認 ③作業日誌、現地確認、農家への聞き取り ④出荷契約書、販売伝票、作業日誌等の出荷・販売・収穫を行ったこと分かる書類 ⑤新規需要米認定結果通知書						
成果等の 確認方法	令和5年12月末までに、以下の方法で確認する。 ①多収栽培技術による作付面積について、交付対象面積を集計。 ②単収については、作付面積と収穫状況調査及び農家への聞き取りにより確認する。 ③生産費については、取組農家への聞き取りにより確認する。						
備考	令和5年度の取組の検証を行い、効果が確認できれば次年度以降も継続する。 令和5年度において定着度が高くなった場合は、令和6年度の要件を変更する。						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鯨川村地域農業再生協議会				整理番号	4（継続）R元～									
使途名	飼料用米（一般品種）収量向上助成														
対象作物	飼料用米（一般品種）（基幹作物）														
単 価	3,000円/10a（上限単価：12,000円/10a）														
課 題	令和4年度においては、地域協議会として関係機関とともに需要に応じた米生産を推進してきたことにより、取組面積は53.7ha（前年比+3.3ha）と目標を上回る成果が見られた。単収については433.0ka/10a（前年比+4.0kg）であり、昨年よりは上昇したが、8月中下旬の低温と日照不足により不稔障害が生じたことが原因と思われる。生産費については、多収品種同様多肥栽培により経費が増加したことから、109,000円/10aの結果となった。 令和5年度においても、地域協議会として需要に応じた米生産を積極的に推進するため、飼料用米（一般品種）の優位性を示したチラシを村内の全農業者に配布したり主要農家へ直接声掛けをするなどして面積増を目指す。 なお、取組要件について収量向上及びコスト削減のための取組に適期中干しを必須項目として、定着度の低い取組要件とする。 目標設定について、生産費については肥料費・燃料費の価格高騰により例年に比べて上回り、今後も価格の増加傾向にあることから、目標設定を変更せずに推進する。														
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度									
	取組面積(ha) 単収(kg/10a) 生産費(円/10a)	目標	- ha 460kg/10a 99,600円/10a	- ha 430kg/10a 106,800円/10a	41ha 435kg/10a 103,600円/10a	55ha 440kg/10a 99,600円/10a									
		実績	- ha 420.1g/10a 109,000円/10a	- ha 429kg/10a 106,800円/10a	42ha 433kg/10a 109,000円/10a	-									
内 容	対象者が収量向上のために一定の取組をした場合、作付面積に応じて助成する。なお、飼料用米（一般品種）については、今後さらに作付の推進及び単収の向上を図る必要があることから、県が設定する飼料米に係る助成に上乗せによる支援を行う。														
具体的要件	1 助成対象者 実需者に出荷・販売を目的に、飼料用米の多収品種の生産に取り組む農業者又は集落営農組織。 2 取組要件 ①実需者と出荷・販売契約を締結すること。 ②新規需要米取組計画の認定を受けること。 ③収量向上及びコスト削減のため、初期、中期、計2回の除草作業（除草剤の散布、難防除雑草については手取り除草）および適期中干しを実施するとともに、以下の取組みのいずれか3つ以上を実施すること。 <table><tr><td>・ 温湯種子消毒</td><td>・ 立毛乾燥</td><td>・ 有機質肥料の施用</td><td>・ 側条施肥</td></tr><tr><td>・ 適期刈り取り</td><td>・ 適期病害虫の防除</td><td>・ 鳥獣害対策</td><td>・ 一発肥料の施肥</td></tr></table>							・ 温湯種子消毒	・ 立毛乾燥	・ 有機質肥料の施用	・ 側条施肥	・ 適期刈り取り	・ 適期病害虫の防除	・ 鳥獣害対策	・ 一発肥料の施肥
・ 温湯種子消毒	・ 立毛乾燥	・ 有機質肥料の施用	・ 側条施肥												
・ 適期刈り取り	・ 適期病害虫の防除	・ 鳥獣害対策	・ 一発肥料の施肥												
取組の 確認方法	1 助成対象者 交付申請書又は営農計画書。 2 取組要件 ①出荷契約書、販売伝票、作業日誌等の出荷・販売・収穫を行ったこと分かる書類 ②新規需要米認定結果通知書 ③作業日誌、現地確認、農家への聞き取り														
成果等の 確認方法	令和5年12月末までに、以下の方法で確認する。 ①作付面積については交付対象面積を集計。 ②単収については、作付面積と収穫状況調査及び農家への聞き取りにより確認する。 ③生産費については、農家への聞き取りにより確認する。														
備考	令和5年度の取組の検証を行い、効果が確認できれば次年度以降も継続する。														

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鮫川村地域農業再生協議会		整理番号	5（継続）H27～		
使途名	地域振興作物助成					
対象作物	野菜・その他の高収益作物（対象作物は別紙１のとおり）（基幹作物）					
単 価	振興作物 野菜、その他の高収益作物（エゴマを除く）：8,000円/10a（上限単価：25,000円/10a） エゴマ：15,000円/10a（上限単価：35,000円/10a）					
課 題	鮫川村の農産物加工・直売所「手まめ館」への聞き取り調査では、令和４年度も野菜の品薄状態は解消されず、需要に対して十分な供給をすることが出来なかった。よってその需要量に応えられるよう、少しずつでも生産量を増やしていくことが必要である。鮫川村でエゴマを買取している鮫川村商工会への聞き取り調査では、依然として加工に必要な収穫量が確保できていないのが現状である。このままではエゴマを活用した商品のブランド化は立ち行かず、緊急に対策を講じなければならない状況となっている。令和５年度も引き続き支援を継続し、危機的状況から脱却することが必要である。 令和４年度においては、地域協議会として農業者への事業の説明と継続・拡大の推進を図り、野菜、その他の高収益作物の作付面積は2.5ha（昨年比同）、エゴマの作付面積は0.8ha（昨年比+0.3ha）となった。 令和５年度においては、地域協議会として関係機関とともに根本的な問題である高齢化に関しては、令和３年度に策定された人・農地プランに定められた中心経営体や、後継者がいる農家に声掛けするなどして新規就農者を確保し、課題の解決と面積増を目指す。具体的には、野菜、その他の高収益作物は検証、課題を鑑み、機械の更新時期であったり、自然災害の頻発などで水稲作付について悩んでいる農家の相談が増えているため、そのような農家には広報やチラシ、直接声掛けなどを通して本事業のメリットを周知し、転作を推進していく。エゴマの推進については、村商工会と引き続き連携して事業の周知を行い、生産面積の堅持・増加を図り、適地適作となるよう推進していく。また、村広報誌等で経営所得安定対策等交付金事業の紹介や10a当たりの収入試算表を掲載することで、農家以外にも当事業を知ってもらい、新規栽培者の増加を図る。					
目 標			令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	取組面積(ha) 上段：野菜、その他の高収益作物 下段：エゴマ	目標	11.1ha 1.6ha 計12.7ha	5ha 0.5ha 計5.5ha	6ha 0.8ha 計6.8ha	8.4ha 1.0ha 計9.4ha
		実績	2.25ha 0.5ha 計2.75ha	2.5ha 0.5ha 計3.0ha	2.5ha 0.8ha 計3.3ha	-
内 容	対象作物の生産を行い、出荷・販売を行う取組を支援する。					
具体的要件	1 助成対象者 実需者に出荷・販売することを目的に対象作物の生産に取組む農業者又は集落営農組織とする。 2 取組要件 （１）助成対象は、当年度において一水田当たり一作物とする。 （２）ただし、新植等で収穫を行うことができない生育段階の作物（収穫までに１年を超える期間を要する作物）等については、対象作物にあった肥培管理（害虫駆除・農薬散布・追肥・草刈など）を行うことで交付対象とする。					
取組の 確認方法	1 助成対象者 営農計画書又は交付申請書、出荷契約書、販売伝票、現地確認。 2 取組要件 （１）現地確認及び作業日誌等の確認。 （２）新植等で収穫を行うことができない生育段階の作物については、肥培管理各工程の作業日誌や播種時点で現地確認を行う。					
成果等の 確認方法	令和５年１２月末までに、以下の方法で確認する。 ・露地及びハウス栽培における作付面積について、交付対象面積を集計。					
備考	令和５年度の取組の検証を行い、効果が確認できれば次年度以降も継続する。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

別紙1

振興作物助成		
対象作物種別	名称	品 目
振興作物助成	野 菜	大根、なす、ねぎ、里芋、青さやいんげん、馬鈴薯、トマト、アスパラガス、きのこ、ふき、こごみ、菊芋、ブロッコリー、長芋、人参、にんにく、らっきょう、ビーツ、ほうれん草、小松菜、春菊、とうもろこし、チンゲン菜、水菜、うるい、みょうが、キャベツ、レタス、白菜、チヂミ菜、サニーレタス、ニラ、かぼちゃ、サツマイモ、からし菜、ターサイ、スティックセニョール、スナップエンドウ、ピーマン、ししとう、玉ねぎ
	その他の高収益作物	エゴマ、こんにゃく芋、小豆、青大豆、黒大豆、落花生

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	鯨川村地域農業再生協議会				整理番号	6（継続）H27～
使途名	地力増進作物助成					
対象作物	地力増進作物（エン麦）（基幹作物）					
単 価	0円/10a（上限単価：20,000円/10a）					
課 題	当地域における農作物の作付の中心は水稻であり、その中でも非主食用米が約42%を占め、水稻以外の大豆、高収益作物等の作付けが少ない現状にある。 このため、水田フル活用による収益性の向上を図るためには転換を一層推進していく必要がある。 よって、地力増進作物（エン麦）を栽培し、田にすき込みを行い、地力増進と連作障害回避として当年度又は次年度の作付けにつなげるようにする。 目標設定については、毎年2haでの取組を行い、大豆及び高収益作物等の作付拡大を図る。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	取組面積(ha)	目標	-	-	2ha	2ha
		実績	-	1.2ha	1ha	-
内 容	地力増進作物（エン麦）を作付けした場合、作付面積に応じて作付けを行った農業者等に対し定額で助成する。					
具体的要件	1 助成対象者 対象作物を栽培し、その後すき込みを行った農業者又は集落営農組織とする。 2 取組要件 （1）対象作物については、地力増進作物（エン麦）とする。 （2）対象作物については、地力増進となることを目的とした肥培管理を行い、すき込みを行うことで交付対象とする。また、翌年度に大豆、高収益作物等の作付けを行わない場合は交付金を返還すること。					
取組の 確認方法	1 助成対象者 営農計画書又は交付申請書、作業日誌、現地確認で対象者を確認する。 2 取組要件 作業日誌及び現地確認を行い、水田へのすき込みを確認する。					
成果等の 確認方法	令和5年12月末までに、以下の方法で確認する。 ・取組面積については交付対象面積を集計する。					
備考	令和5年度 of 取組の検証を行い、効果が確認できれば次年度以降も継続する。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。